

表郷こども園整備事業

継続

2億4,125万8千円

おもてごう保育園を表郷幼稚園の隣接地に移転新築し、表郷幼稚園と合わせて「(仮称)表郷こども園」を整備するため、令和6年度の実施設計をもとに建築工事を行う。

見守りQRコード事業

新規

56万8千円

認知症の方などが行方不明の際、身元の情報を把握できるようにするため、コールセンターにつながるQRコードが印刷されたシールを衣服や靴にあらかじめ貼り付け、早期発見、保護につなげる。

ヨル活交流事業

新規

182万6千円

未婚者の自然な出会いの場を創出するため、平日の夜間帯で気軽に交流できるイベントを定期的に開催する。

ビジネスリレーサポート事業

新規

690万円

ものづくりの高い技術や市民に親しまれてきた食など、貴重な資源を将来につなぐため、後継者不在や専門知識がないなどの理由で事業承継が進まない小規模事業者に伴走支援を実施する。

城山公園水堀水質浄化事業

新規

547万8千円

小峰城跡の貴重な構成要素である水堀について、周辺の生活環境を含めた一体的な保全を図るため、水源・水質の調査を実施する。

空き家対策事業

(相続財産清算人制度活用事業・代執行による解体工事)

新規

700万9千円

良好で快適な生活環境の形成を図るため、相続財産清算人制度の活用や代執行により特定空家等の解消を進める。

総括質疑



菅原 修一 議員

Q 廃校施設等活用促進事業補助金の事業者と事業内容について伺う。

A 旧信夫二小と旧大屋小の二校合わせて2,700万円を計上している。旧大屋小の活用については、一般社団法人オンパジョブより事業提案があり、一年間の使用貸借契約を締結する予定である。

Q 複合施設の総事業費は73億2,062万円となっているが、工事請負費の内容とその財源について伺う。

A 工事請負費は立体駐車場と施設本体建設工事で合わせて31億4,800万円となる。財源内訳は、補助金・交付金で9億924万円、市債20億7,660万円、基金1億6,224万円となっている。

Q 農業法人参入促進事業に旅費として415万円を計上しているが、事業内容を伺う。

A 施設園芸の先進国であるオランダへの視察経費である。先進国の現状を視察し、情報収集を行い、本市への農業法人誘致の可能性を探るために実施する。

深谷 弘 議員

Q 学校給食費負担軽減事業5,556万5千円は、物価高騰に伴う給食食材費を市が負担するものだが、前年度同事業対比2,514万3千円増となっている。その内訳(積算根拠)はどうなるか。

A 市の補助額は、一人一食当たり小学校65円、中学校69円、大信幼稚園67円である。小学校が2,946人で3,594万7千円、中学校が1,544人で1,906万6千円、大信幼稚園が55人で55万3千円である。

Q 余裕財源である3つの積立基金(財政調整・公共施設等整備・減債)の年度末残高が、80億円を超えている。令和6年度(2024年度)残高はどうなるか。

A 財政調整基金は、取崩額15億9,897万8千円、積立額14億405万3千円、年度末残高見込額35億2,311万4千円。公共施設等整備基金は、取崩額2億5,130万円、積立額1億6,925万6千円、年度末残高見込額39億7,542万5千円。減債基金は、取崩額0円、積立額2億1,013万9千円、年度末残高見込額5億354万4千円。合計で80億超となる。